

エントリー変更／補助役員／タイムスケジュール等について

1. 【エントリー変更届】について

8月7日（月）15:00 までにメールにて提出して下さい。15:00 以降の変更は受け付けません。

なお、変更のある場合のみ提出することとし、**原本を大会初日に、受付に提出する**ようお願いいたします。

*メールアドレス：chibakanto2023volley@gmail.com

2. 【記録・ラインジャッジ・点示】などの補助役員について

① 大会1日目（8日）

記録（AS）・ラインジャッジ・点示は、出場チームの生徒（登録メンバー・サポートメンバー・マネージャー）で行います。

- 第1試合の記録（2名）/ラインジャッジ（4名）/点示（4名）→**第3試合の2チームから5名ずつ**出すこと。
* 9：20に本部に集合すること（筆記用具持参）。
- **第2試合以降は前試合の敗退チームから10名**出すこと。

② 大会2日目（9日/10日）

記録（AS）・ラインジャッジ・点示は、出場チームの生徒（登録メンバー・サポートメンバー・マネージャー）で行います。

- 第1試合の記録（2名）/ラインジャッジ（4名）/点示（4名）→**第2試合の2チームから5名ずつ**出すこと。
* 9：30に本部に集合すること（筆記用具持参）。
- **第2試合以降は前試合の敗退チームから10名**出すこと。

③ 大会3日目（8/10）※大会本部が補助役員を行います。

3. タイムスケジュール

① 1日目（8日）の流れ

- 08：20 開館／チーム受付（ブラカード受け取り→退館時返却）
 - 08：30 第1試合の2チームによるコート練習（ネット使用可）
 - 09：20 第1試合の補助役員は本部に集合（第3試合のチームから5名ずつ）
 - 09：30 コート練習終了
 - 09：35 開始式（選手は所定の位置に整列）
 - 09：45 コートチェック
 - 09：49 プロトコール
 - 10：00 第1試合開始
 - 11：30 第2試合（設定時間）
→ 11：15～コートチェック／ 11：19～プロトコール
 - 13：00 第3試合（設定時間）
→ 12：45～コートチェック／ 12：49～プロトコール
 - 14：30 第4試合（設定時間）
→ 14：15～コートチェック／ 14：19～プロトコール
- *前試合が設定時刻よりも早く終了した場合…コートチェック後、パス程度の練習可
*前試合が設定時刻よりも遅く終了した場合…コートチェック後、パス程度の練習可（5分間）

② 2日目・3日目（9日/10日）の流れ

- 08：35 開館／チーム受付（ブラカード受け取り→退館時返却）
 - 08：45 第1試合の2チームによるコート練習（ネット使用可）
 - 09：30 第1試合の補助役員は本部に集合（第2試合のチームから5名ずつ）
 - 09：45 コート練習終了
 - 09：45 コートチェック
 - 09：49 プロトコール
 - 10：00 第1試合開始
 - 11：30 第2試合（設定時間）
→ 11：15～コートチェック／ 11：19～プロトコール
 - 14：00 第3試合（設定時間）
→ 13：45～コートチェック／ 13：49～プロトコール
*決勝戦前のみ13：48～プロトコール
- *前試合が設定時刻よりも早く終了した場合…コートチェック後、パス程度の練習可。
*前試合が設定時刻よりも遅く終了した場合…コートチェック後、パス程度の練習可（5分間）。
*第3試合の補助役員は第2試合の敗退チームから10名出すこと。

令和5年度 第58回 関東中学校バレーボール大会

競技上の確認事項

- 1 競技は2023年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則による。
- 2 競技日程及び試合方法はプログラム記載のとおりとし、男女32チームによるトーナメント戦とする。試合は3セットマッチとし、3位決定戦は行わない。
- 3 開場時刻、試合開始時刻はプログラム記載時刻とする。
 - (1) 前の試合が早く終了した場合、コートチェック後、ボールヒットをしないパス程度の練習をすることができる。設定時間より長くなった場合は、コートチェック後、5分間のパス程度の練習とする。フロアへは10名以内のサポートメンバーの立ち入りを許可する。サポートメンバーはID着用の上、「ボール拾い」「ボール渡し」に限る。なお、IDは試合ごと、フロアにいるコート委員から受け取る。11分前からプロトコールに入る。（決勝戦は12分前とする）。ただし、第1試合については合同練習5分を行わない。
 - (2) 前の試合が設定時間より遅れた場合は、前の試合終了後、コートが整備でき次第、速やかに5分間の合同練習に入る。
 - (3) 準々決勝までは、男女4面で設定時間を原則とする。準決勝・決勝は、2面で同時進行とする。
- 4 準決勝、決勝戦に限り、監督は自チームのアタックラインの延長線からエンドラインまでのフリーゾーンで立ちながら指示を出すことができる。ただし、試合の進行を妨げたり、遅らせたりしてはならない。
- 5 公式練習は各3分間とし、合同で行う場合は6分間とする。
- 6 大会使用球は、12枚張り人工皮革カラー検定球とする。男子:モルテン 女子:ミカサ
- 7 公式練習終了後は、ベンチ及びフロアには登録された監督・コーチ・マネージャー及び選手以外は立ち入ることはできない。サポートメンバーはIDをコート委員に返却し、観客席に移動すること。また、フロアへの出入りは会場ごとに指定された出入り口を使うこと。
- 8 監督・コーチ・マネージャーは所定のマークを左胸部につけること。キャプテンはユニフォームの胸番号の下にキャプテンマークをつけること
- 9 スタッフは統一された服装でベンチに入ること。マナーについては十分留意すること。ベンチには、部旗・校旗・マスコット・メガホン等試合に直接必要でないものは持ち込まないこと。また、フロアが濡れるおそれがあるタオル等の持ち込みも禁止する。

- 10 試合コート及びフロアでのボールの使用は、合同練習及び公式練習とセット間(フリーゾーン)以外は認めない。ロビー等でのボールの使用も禁止する。その他各会場の使用規定に従うこと。
- 11 エントリー変更、訂正がある場合は、8月7日(月)15:00を締め切りとする。所定の様式でメールにて提出すること。また、大会第1日目の受付時に原本を提出すること。
これ以降の変更・訂正はいかなる場合も一切認めない。監督・コーチの変更についても同用紙にて変更の手続きを行う。(エントリー変更用紙は8月1日(火)の組合せ抽選会議時に配付済み)
- 12 本大会では、給水のためのタイムアウトが適用される。プレーヤーは、ウォームアップエリアで飲むことができる。
- 13 表彰は、2日目第3試合後、3日目各準決勝・決勝戦終了後にコート表彰を行う。
- 14 横断幕のぼりについては以下のとおりとする。
 - ◇横断幕は試合を行っているチームのものを優先し、試合後は必ず撤去すること。
 - ◇会場を汚したり、破損させたりする可能性のあるもの(ガムテープ等)を使用しての横断幕・のぼり等を固定しないこと。
 - ◇横断幕は、会場の「避難掲示」を隠さないように設置すること。また、プレーに支障が出るような設置もしないこと。役員からの指示があった場合は、その指示に従うこと。
- 15 試合中、ベンチでの無線・携帯電話等の通信機器の使用は禁止とする。
- 16 2日目以降のラインアップシートは、記録席及び競技委員の席にも用意する。

「給水のためのタイムアウト」の取り扱いについて

- 1 本大会では、各セット(第3セットを含む)において、リードするチームが13点に達したとき、30秒間の「給水のためのタイムアウト」が自動的に適応される。その際、副審が吹笛をし、コートを退くよう促し計時する。ハンドシグナルは示さない。
- 2 この「給水のためのタイムアウト」は、給水を目的とするものであり、その間、選手はウォームアップエリア(付近)で給水を行う。また、チームスタッフはベンチに座っているものとする。(給水を行うか否かの判断は、選手本人の意思による。給水を行わなくても同エリア内にとどまること。控えの選手も同様である。)
- 3 第3セットは、13点でチェンジコートを行い、その後、「給水のためのタイムアウト」となる。
- 4 正規の中断の要求やリベロリプレイスメントよりも「給水のためのタイムアウト」を優先する。正規の中断の要求やリベロリプレイスメントを行う場合は、「給水のためのタイムアウト」の後にその手続きをする。
※「給水のためのタイムアウト」は、給水及び汗拭きを目的としているので、中断中は次の点に注意すること。

プレーヤー

ウォームアップエリアにおいて給水することができる。モップをかけるためにコートに入ることは許されるが、それ以外はウォームアップエリア付近にいることとする。ウォームアップエリアへは最短距離となるコースを通過して移動する。

チームスタッフ

ベンチに着席すること。プレーヤーに対して戦術的な指示を出すことはできない。ただし、マネージャーは給水などの補助のため、ウォームアップエリアに行くことは認められるが、監督、コーチからの戦術的な伝言をしてはならない。

※「給水のためのタイムアウト」後、選手がコートインしたら通常のタイムアウトの取り扱いと同様にする。

第58回関東中学校バレーボール大会における審判上の確認事項について

- 1 競技は、2023年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則および2023年度（公財）日本中学校体育連盟バレーボール競技部の6人制ルールの取り扱いを適用する。リベロプレーヤーは、試合ごとに2名まで登録できる。
- 2 服装は、（公財）日本中体連バレーボール競技部『全国大会参加チームのユニフォームの規定について』に準ずる。
 - （1）選手のユニフォームについて、ジャージ、ショートパンツ、ソックスは清潔で同じ色に統一していなければならない。
 - （2）リベロプレーヤーは、正規の選手と明らかに色の異なったもの（対象色）を着用する。判別が難しいと判断された場合は着替えるかリベロベストを着用しなければならない。
 - （3）監督・コーチ・マネージャーは統一されたものを着用する。但し、生徒がマネージャーの場合、選手と同じトレーニングウェアでも良い。それぞれ、左胸にワッペンをつける。
- 3 プロトコールについては、別表の通りとする。
- 4 監督およびチームキャプテンは、トスの前後にスコアシートにサインをする。また、リベロプレーヤーを登録するチームの監督は、そのプレーヤーの番号をスコアシートに記入する。リベロを再指名する場合を除き、サイン後に訂正することは認められない。
- 5 公式練習を含め、競技場内には正式にエントリーされたメンバー以外は立ち入りを認めない。ただし、サポートメンバー10名は可とする（ID着用の上、「ボール拾い」「ボール渡し」に限る）。
- 6 ウォームアップエリアを設ける場合において、エリア内でのボールの使用は禁止する。
- 7 セット間はエンドライン側のフリーゾーンでボールを使用することができる。但し、選手同士のパス程度の練習とし、チームスタッフがボールを出す行為は認めない。
- 8 スポーツ選手としてふさわしくない行為をしない。（威嚇や暴言、相手へのガッツポーズなど）
- 9 試合中のワイピングは、原則としてコート内の選手がタオルを携帯し行う。モップは必要に応じてタイムアウト中とセット間および審判が必要と判断した場合（範囲が広くタオルでふききれない、など）使用する。
- 10 監督は、自チームベンチ前アタックラインの延長線上からウォームアップエリアまでの範囲内で、立ち上がりあるいは歩きながら指示を出すことができる。ただし、ラリー中はベンチに座る。
※大会3日目のみ、監督はラリー中も立ち上がって指示をしても良い。ただし、LJや2ndの判定の妨げになる位置取りを避けること。

- 1 1 タイムアウトは監督がハンドシグナルを明確に示して要求する。
- 1 2 セット開始時のコート内でハドルを組めるのは、スターティングラインアップの6名とリベロプレーヤー最大1名のみである。
- 1 3 リベロプレーヤーの交代は、交代する2名がサイドライン上で同時に交代する。
- 1 4 個別に公式ウォームアップを行う際、コートを使用する権利のあるチームの練習を妨げてはならない。
- 1 5 選手は、1ラリーごとに記録席横のボールリトリバーへボールを返球し、サーバーはボールリトリバーが投げたボールを受け取る。

【熱中症対策①】「給水のためのタイムアウト」を毎セット13点で2ndがホイッスルで合図し、両チームをウォームアップエリア付近もしくはベンチの外側へ導く。その際、ベンチスタッフは着席し、チームへ指示を出すことは認めない。ただし、生徒がマネージャーの場合は、マネージャーもウォームアップエリアで給水することを認める。

【熱中症対策②】団扇の使用を認める。ただし、タイムアウト中やセット間のプレーが中断している場合にのみ使用する。それ以外の使用は認めない。

別表

プロトコールについて

【3セットマッチ】

＜試合開始前＞

	チーム	1st・2nd
試合前	両審判員のネット等のチェック時は、ネットを使用しないウォームアップをすることができる。	両審判員は、ネットの高さ・張り具合・アンテナの位置およびサイドバンドの位置をチェックする。また、公式ウォームアップ前には必ずユニフォームになるよう呼びかけるとともに、チームキャプテンはユニフォームでコイントスへ参加させる。(キャプテンマークの有無を確認する。)
11分前 ※決勝のみ 12分前	監督は、スコアシートに記載されているメンバーを確認し、サインする。(監督については、スコアラールの準備が整っていれば、合同練習中にサインをしても構わない。) チームキャプテンはコイントスのため記録席に行く。トスの後、スコアシートにサインする。	1stは、記録席前で2ndを立ち会わせてコイントスをする。 2ndは両チームのチームキャプテン・監督を記録席に導き、スコアシートにサインさせる。(スコアラールの準備が整っている場合に限り、監督のサインは合同練習中にさせても構わない。)
10分前	両チームが一緒か、または個別にサービス権を得たチームから)公式ウォームアップを開始する。 ※個別に公式ウォームアップを行う際、コートを使用する権利のあるチームの練習を妨げてはならない。	1stは、公式ウォームアップの開始をホイッスルするとともに、ボール、スコアシート、プザー、ユニフォームなどのゲームに必要な道具のチェックをする。 ラインジャッジ、ボールリトリバーとの打ち合わせを行う。 2ndは、公式ウォームアップの計時を行うとともに、両チームの登録選手をチェックする。(登録されていない選手がいる等の問題は、監督へ伝えた上ですぐに対応する。)
7分前	個別にウォームアップを行っている場合は交代する。	2ndは各チームが個別にウォームアップを行っている場合はその交代をホイッスルで合図する。
4分前	公式ウォームアップを終了し、各チームのメンバーは全員速やかにベンチへ戻る。	1stは、公式ウォームアップの終了をホイッスルで合図する。
3分前	全プレーヤーは全員エンドラインに整列する。 ＜※アナウンスがある試合はここで実施する＞ 1stのホイッスルで両チームが あいさつ後、アタックラインまで進み両チームが向かい合って拍手すること、握手にかえる 。その後、各チームのメンバーはベンチに戻り、スターティングプレーヤーはユニフォーム姿で待機する。	1stは、両チームのプレーヤーをエンドライン上に導く。 1st・2ndは、審判台の前でネットを挟んで記録席から見て左側に1st・右側に2ndが位置する。
90秒前	1stのホイッスルで、スターティングプレーヤーはベンチから直接コートへ入る。 ハドルはスターティングラインアップを確認する前に組む。その際、スターティングプレーヤーとリベロ最大1名のみとする。	1stは、ホイッスルでプレーヤーをコート内に導く。 2nd及び記録員は、それぞれスターティングラインアップを照合する。 その後、2ndはボールを最初のサーバーに送る。 (2ndは必要に応じてリベロの交代を指導する。)
定刻	最初のサーバーは、1stのホイッスルによりサービスを行う。	1stはサービス許可のホイッスルをする。

記録席横に特設のボールリトリバーを2名配置し、2ndは1ラリーごとにボール交換を指示する。

<セット間>

	チーム	1st・2nd
セット終了時	<p>セットが終了したら、コート上のプレーヤーはエンドライン上に整列する。</p> <p>1stのホイッスルで、コートチェンジをする。 (スタッフ・ベンチメンバー及び荷物の移動は2ndの前方を通りコート内へ入らないよう注意する)</p>	<p>1stは、両チームのプレーヤーがエンドラインへ整列したら、コートチェンジをホイッスルで合図する。</p> <p>2ndは、ボールに対し背中を向けて両ベンチに異常がないかを確認する。また、1分前になってもラインアップシートが提出されなければ、監督へ提出を促す。(スコアシートにラインアップが記載されたら、訂正することはできない。)</p> <p>2ndとスコアラーは、提出されたラインアップと登録選手を照合し、誤りがないかを確認する。</p>
2分30秒後	<p>プレーヤーは2ndのホイッスルにより、ベンチから直接コートに入る。</p>	<p>2ndは、スコアラーの合図を受けて、両チームにコートに入るようホイッスルで合図する。</p> <p>2ndとスコアラーは、その後直ちにスターティングラインアップを確認する。</p>

<試合終了後>

	チーム	1st・2nd
速やかに	<p>試合が終了したら、全プレーヤーはエンドライン上に整列し、1stのホイッスルによりあいさつ後、アタックラインまで進み両チームが向かい合って拍手することで、握手にかえる。</p> <p>チームキャプテンはスコアシートにサインし、1st・2ndに感謝の挨拶をする。</p> <p>チームは直ちにベンチから離れる。</p>	<p>1stは、全プレーヤーをエンドラインに整列させる。</p> <p>1stは審判台を降り、2ndが定位置に付いたらホイッスルで両チームに挨拶をさせる。</p> <p>記録席に戻り、両方のチームキャプテンにサインをさせ、その後スコアラーのスコアシート記入を完了させる。</p>